



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年10月30日  
上場取引所 東

上場会社名 日本酸素ホールディングス株式会社  
 コード番号 4091 URL https://www.nipponsanso-hd.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 市原裕史郎  
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 梅原崇禎 TEL 03-5788-8512  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 2020年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	384,505	△9.1	36,727	△19.2	36,665	△21.6	21,561	△24.9	21,001	△24.3	38,485	—
2020年3月期第2四半期	422,881	28.4	45,479	61.6	46,749	61.4	28,724	53.4	27,740	56.9	△8,922	—

(参考) 税引前利益 2021年3月期第2四半期 30,821百万円(△24.5%) 2020年3月期第2四半期 40,831百万円(50.8%)  
 コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（非経常項目）を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	48.53	—
2020年3月期第2四半期	64.10	—

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,774,281	469,973	440,495	24.8
2020年3月期	1,751,732	440,693	409,344	23.4

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2021年3月期	—	14.00			
2021年3月期（予想）			—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	830,000	△2.4	82,000	△9.2	82,000	△12.7	46,000	△16.4	44,000	△17.5	101.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(参考) 税引前利益 通期 67,500百万円(△14.7%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	433,092,837株	2020年3月期	433,092,837株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	340,665株	2020年3月期	339,139株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	432,753,143株	2020年3月期2Q	432,756,348株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。

- ・2020年11月12日（木）……機関投資家、アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## 全般の概況

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)における当社グループの事業環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、第1四半期連結会計期間では進出国及び地域では大幅な景気低迷と需要減退の局面を迎え、製造業の生産活動も急速に減速・停滞しておりました。当第2四半期連結会計期間に入り、全般的に回復の兆しが現れ、四半期単位でのセパレートガス(酸素、窒素、アルゴン)の出荷は緩やかに復調しつつありますが、前期に比べ大きく減少しました。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上収益3,845億5百万円(前年同期比9.1%減少)、コア営業利益367億27百万円(同19.2%減少)、営業利益366億65百万円(同21.6%減少)、親会社の所有者に帰属する四半期利益210億1百万円(同24.3%減少)となりました。

なお、コア営業利益は営業利益から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出しております。

セグメント業績は、次のとおりです。

なお、セグメント利益はコア営業利益で表示しております。

## ① 国内ガス事業

産業ガス関連では、主力製品であるセパレートガスの売上収益は、関連業界での生産活動が低調に推移し、前期に比べ大きく減少しました。一方、エレクトロニクス関連での電子材料ガスの売上収益は、前期並みとなりました。機器・工事では、エレクトロニクス関連で大きく増収となりましたが、金属加工向けの溶接・溶断関連機材を中心に前期を大きく下回りました。

以上の結果、国内ガス事業の売上収益は、1,571億25百万円(前年同期比9.7%減少)、セグメント利益は、114億76百万円(同6.8%減少)となりました。

## ② 米国ガス事業

産業ガス関連では、パッケージ・バルクを中心に、主力製品であるセパレートガスの売上収益は大きく減少しました。オンサイトでは、供給先の需要低下の影響で前期を下回りました。機器・工事では、エレクトロニクス関連での売上収益は増加しましたが、金属加工向けの溶接・溶断関連機材では、州内での小売店舗の営業活動自粛の影響もあり、大幅に減少しました。

以上の結果、米国ガス事業の売上収益は、912億53百万円(前年同期比7.8%減少)、セグメント利益は、96億31百万円(同18.0%減少)となりました。

## ③ 欧州ガス事業

主要地域となるイベリア(スペイン・ポルトガル)、ドイツ、イタリアでは、生産活動全般で停滞が生じたことにより、バルクガスの需要は大きく落ち込みました。また、オンサイトでは、供給先の需要低下の影響を受けて、大幅に減少しました。機器・工事では、金属加工向け溶接・溶断関連機材を中心に大きく減少しました。

以上の結果、欧州ガス事業の売上収益は、748億21百万円(前年同期比12.3%減少)、セグメント利益は、86億49百万円(同34.6%減少)となりました。

## ④ アジア・オセアニアガス事業

産業ガス関連では、フィリピン等での都市部封鎖や製造業の生産活動停滞の影響を受け、主力製品であるセパレートガスの売上収益は大きく減少しました。LPガスでは、仕入での契約価格低下による販売単価下落はありましたが、豪州での出荷は堅調でした。エレクトロニクス関連では、東アジアでの電子材料ガスの出荷は好調です。機器・工事では、台湾での工事案件の剥落に加え、シンガポールでのスポット案件の減少と金属加工向け溶接・溶断関連機材を中心に大きく減少しました。

以上の結果、アジア・オセアニアガス事業の売上収益は、502億64百万円(前年同期比2.6%減少)、セグメント利益は、56億73百万円(同5.5%増加)となりました。

## ⑤ サーマス事業

サーマス事業は、国内では、第1四半期連結会計期間での外出制限や営業自粛要請により、行楽シーズンでの販売機会を喪失した影響が大きく、主力製品のケータイマグの売上収益は大きく減少しました。一方、自宅で過ごす時間の長い新たなライフスタイルが浸透したことに関連し、フライパンやタンブラーの販売数量は大きく増加しました。海外では、各地域での景気減退の影響を受け、販売数量が減少しました。

以上の結果、サーマス事業の売上収益は、110億39百万円（前年同期比 15.4%減少）、セグメント利益は、21億12百万円（同 48.9%減少）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は1兆7,742億81百万円で、前連結会計年度末比で225億48百万円の増加となっております。為替の影響については、前連結会計年度末に比べ期末日レートがUSドルで3円3銭の円高、ユーロで4円62銭の円安となるなど、約236億円多く表示されております。

## 〔資産〕

流動資産は、棚卸資産の増加や営業債権の減少等により、前連結会計年度末比で37億14百万円増加し、3,710億16百万円となっております。

非流動資産は、のれんやその他の金融資産の増加等により、前連結会計年度末比で188億34百万円増加し、1兆4,032億64百万円となっております。

## 〔負債〕

流動負債は、社債及び借入金や営業債務の減少等により、前連結会計年度末比で341億1百万円減少し、2,978億2百万円となっております。

非流動負債は、社債及び借入金や繰延税金負債の増加等により、前連結会計年度末比で273億70百万円増加し、1兆65億5百万円となっております。

## 〔資本〕

資本は、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上による増加や利益剰余金の配当、在外営業活動体の換算差額の増加等により、前連結会計年度末比で292億79百万円増加し、4,699億73百万円となっております。

なお、親会社所有者帰属持分比率は24.8%で前連結会計年度末に比べ1.4ポイント高くなっております。

## (キャッシュ・フローの分析)

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前四半期利益、減価償却費及び償却費、営業債務の増減額等により、営業活動によるキャッシュ・フローは539億28百万円の収入となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出等により、投資活動によるキャッシュ・フローは302億37百万円の支出となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出、コマーシャル・ペーパーの純増減額、長期借入れによる収入等により、財務活動によるキャッシュ・フローは211億12百万円の支出となりました。

これらの結果に、為替換算差額等を加えた当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の四半期末残高は、1,043億42百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	100,005	104,342
営業債権	179,243	171,243
棚卸資産	65,886	71,164
その他の金融資産	7,147	7,816
その他の流動資産	15,020	16,181
小計	367,302	370,749
売却目的で保有する資産	—	267
流動資産合計	367,302	371,016
非流動資産		
有形固定資産	655,195	657,073
のれん	419,290	430,987
無形資産	232,077	232,379
持分法で会計処理されている投資	32,065	32,039
その他の金融資産	38,834	43,428
退職給付に係る資産	1,358	1,370
その他の非流動資産	971	1,340
繰延税金資産	4,637	4,645
非流動資産合計	1,384,430	1,403,264
資産合計	1,751,732	1,774,281

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	93,885	82,660
社債及び借入金	154,980	133,588
未払法人所得税	8,331	7,472
その他の金融負債	51,525	47,637
引当金	375	394
その他の流動負債	22,805	26,048
流動負債合計	331,903	297,802
非流動負債		
社債及び借入金	807,611	828,976
その他の金融負債	29,171	29,453
退職給付に係る負債	12,952	13,462
引当金	3,281	3,392
その他の非流動負債	20,282	20,356
繰延税金負債	105,835	110,863
非流動負債合計	979,135	1,006,505
負債合計	1,311,038	1,304,307
資本		
資本金	37,344	37,344
資本剰余金	56,387	56,048
自己株式	△268	△271
利益剰余金	379,322	394,134
その他の資本の構成要素	△63,441	△46,760
親会社の所有者に帰属する持分合計	409,344	440,495
非支配持分	31,349	29,477
資本合計	440,693	469,973
負債及び資本合計	1,751,732	1,774,281

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	422,881	384,505
売上原価	△259,875	△236,602
売上総利益	163,005	147,902
販売費及び一般管理費	△120,441	△112,522
その他の営業収益	4,463	2,120
その他の営業費用	△1,741	△1,464
持分法による投資利益	1,463	628
営業利益	46,749	36,665
金融収益	1,268	743
金融費用	△7,185	△6,587
税引前四半期利益	40,831	30,821
法人所得税	△12,107	△9,259
四半期利益	28,724	21,561
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	27,740	21,001
非支配持分	984	560
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	64.10	48.53



要約四半期連結包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	28,724	21,561
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	△1,342	3,252
確定給付制度の再測定	△11	△18
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	8	△32
純損益に振り替えられることのない項目合計	△1,345	3,201
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△34,680	14,157
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の 純変動の有効部分	△57	△4
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△1,564	△430
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△36,301	13,722
税引後その他の包括利益合計	△37,647	16,923
四半期包括利益	△8,922	38,485
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△9,485	37,664
非支配持分	562	821

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金
2019年4月1日残高	37,344	53,116	△261	339,393
四半期利益	—	—	—	27,740
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	27,740
自己株式の取得	—	—	△3	—
自己株式の処分	—	0	0	—
配当	—	—	—	△5,627
支配継続子会社に対する持分変動	—	△3	—	—
企業結合又は事業分離	—	4,352	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	△11
連結範囲の変動	—	—	—	12
その他の増減	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	4,348	△3	△5,626
2019年9月30日残高	37,344	57,465	△264	361,507

その他の資本の構成要素

	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2019年4月1日残高	△33,440	△39	10,488	—	△22,991	406,602	29,251	435,854
四半期利益	—	—	—	—	—	27,740	984	28,724
その他の包括利益	△35,832	△57	△1,324	△11	△37,225	△37,225	△421	△37,647
四半期包括利益	△35,832	△57	△1,324	△11	△37,225	△9,485	562	△8,922
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△3	—	△3
自己株式の処分	—	—	—	—	—	0	—	0
配当	—	—	—	—	—	△5,627	△604	△6,232
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	△3	△16	△19
企業結合又は事業分離	—	—	—	—	—	4,352	1,165	5,518
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	0	11	11	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	12	—	12
その他の増減	—	—	—	—	—	—	△259	△259
所有者との取引額等合計	—	—	0	11	11	△1,269	285	△984
2019年9月30日残高	△69,272	△96	9,163	—	△60,205	395,847	30,100	425,947

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金
2020年4月1日残高	37,344	56,387	△268	379,322
四半期利益	—	—	—	21,001
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	21,001
自己株式の取得	—	—	△2	—
自己株式の処分	—	0	0	—
配当	—	—	—	△6,060
支配継続子会社に対する 持分変動	—	△339	—	—
企業結合又は事業分離	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	△18
連結範囲の変動	—	—	—	△110
その他の増減	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△339	△2	△6,190
2020年9月30日残高	37,344	56,048	△271	394,134

その他の資本の構成要素

	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2020年4月1日残高	△71,170	19	7,709	—	△63,441	409,344	31,349	440,693
四半期利益	—	—	—	—	—	21,001	560	21,561
その他の包括利益	13,516	△7	3,172	△18	16,662	16,662	260	16,923
四半期包括利益	13,516	△7	3,172	△18	16,662	37,664	821	38,485
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△2	—	△2
自己株式の処分	—	—	—	—	—	0	—	0
配当	—	—	—	—	—	△6,060	△407	△6,468
支配継続子会社に対する 持分変動	—	—	—	—	—	△339	△2,517	△2,856
企業結合又は事業分離	—	—	—	—	—	—	54	54
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	△0	18	18	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	△110	—	△110
その他の増減	—	—	—	—	—	—	177	177
所有者との取引額等合計	—	—	△0	18	18	△6,513	△2,692	△9,205
2020年9月30日残高	△57,653	11	10,881	—	△46,760	440,495	29,477	469,973

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	40,831	30,821
減価償却費及び償却費	41,515	43,022
受取利息及び受取配当金	△659	△480
支払利息	7,145	6,565
持分法による投資損益 (△は益)	△1,463	△628
有形固定資産及び無形資産除売却損益 (△は益)	△2,047	29
営業債権の増減額 (△は増加)	13,550	8,859
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,147	△4,445
営業債務の増減額 (△は減少)	△11,967	△12,050
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△206	△196
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	390	405
その他	2,206	△4,549
小計	84,149	67,353
利息の受取額	101	93
配当金の受取額	4,538	1,023
利息の支払額	△6,158	△5,705
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△12,127	△8,836
営業活動によるキャッシュ・フロー	70,503	53,928
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△36,500	△29,026
有形固定資産の売却による収入	2,494	218
投資の取得による支出	△291	△468
投資の売却及び償還による収入	77	5
子会社の取得による支出	—	△119
子会社の売却による収入	1,586	—
その他	△611	△846
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,244	△30,237
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△54,365	2,010
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	11,000	△10,000
長期借入れによる収入	55,757	51,564
長期借入金の返済による支出	△27,273	△51,320
リース負債の返済による支出	△4,427	△4,230
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△22	△2,704
配当金の支払額	△5,627	△6,060
非支配持分への配当金の支払額	△604	△407
その他	1	36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,562	△21,112
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△1,981	1,739
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,715	4,318
現金及び現金同等物の期首残高	59,620	100,005
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	41	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	19
現金及び現金同等物の四半期末残高	69,376	104,342

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。なお、報告にあたって事業セグメントの集約は行っておりません。

当社グループは、鉄鋼、化学、エレクトロニクス産業向けなどに国内外でガス事業を行っており、主要製品に関しては、日本、米国、欧州、アジア・オセアニアの各地域において、それぞれ生産・販売体制を構築しております。また、ステンレス製魔法瓶など家庭用品の製造・販売などの事業も行っております。したがって、当社は、「国内ガス事業」「米国ガス事業」「欧州ガス事業」「アジア・オセアニアガス事業」「サーモス事業」の5つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品・サービス
国内ガス事業	酸素、窒素、アルゴン、炭酸ガス、ヘリウム、水素、アセチレン、ガス関連機器、特殊ガス（電子材料ガス、純ガス等）、電子関連機器・工事、半導体製造装置、溶断機器、溶接材料、機械装置、LPガス・関連機器、医療用ガス（酸素、亜酸化窒素等）、医療機器、安定同位体
米国ガス事業	
欧州ガス事業	
アジア・オセアニアガス事業	
サーモス事業	家庭用品

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している方法と同一であります。なお、セグメント間の内部売上収益又は振替高は、主に市場実勢価格に基づいております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益及び損益の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結
	国内ガス 事業	米国ガス 事業	欧州ガス 事業	アジア・ オセアニア ガス事業	サーモス 事業	合計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	174,015	98,953	85,283	51,582	13,046	422,881	—	422,881
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	4,984	8,021	—	1,362	11	14,379	△14,379	—
計	178,999	106,975	85,283	52,944	13,057	437,261	△14,379	422,881
セグメント利益(注2)	12,319	11,744	13,218	5,376	4,137	46,796	△1,316	45,479

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,316百万円には、セグメント間取引消去△336百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△980百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに配分していない基礎研究費用等です。

2. セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（事業撤退や縮小から生じる損失等）を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結
	国内ガス 事業	米国ガス 事業	欧州ガス 事業	アジア・ オセアニア ガス事業	サーモス 事業	合計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	157,125	91,253	74,821	50,264	11,039	384,505	—	384,505
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	7,293	8,812	6	1,568	17	17,697	△17,697	—
計	164,418	100,066	74,828	51,832	11,057	402,203	△17,697	384,505
セグメント利益 (注2)	11,476	9,631	8,649	5,673	2,112	37,543	△816	36,727

(注) 1. セグメント利益の調整額△816百万円には、セグメント間取引消去△123百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△692百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに配分していない基礎研究費用等です。

2. セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益 (事業撤退や縮小から生じる損失等) を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

セグメント利益から、税引前四半期利益への調整は、以下のとおりであります。

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
セグメント利益	45,479	36,727
固定資産売却益	2,059	—
減損損失	△311	—
その他	△479	△61
営業利益	46,749	36,665
金融収益	1,268	743
金融費用	△7,185	△6,587
税引前四半期利益	40,831	30,821